

日语自学读物

世界童话拔萃

奚阳 译注

北京师范大学出版社

日语自学读物

世界童话拔萃

奚 阳 译注

北京师范大学出版社

1981年5月

世界童话拔萃

奚 阳 译注

北京师范大学出版社出版
新华书店北京发行所发行
河北省大厂县印刷厂印刷

开本787×1092 1/32 印张：8.625 字数18万

1981年第1版 1981年第1次印刷

印数：1——10,500

统一书号：9243·5 定价：0.70元

前言

本书译自日本「讲谈社」出版的《世界の童話》一书，原书全部是用「假名」写的，且配有由著名演员灌制的唱片。书中除选有伊索、安徒生、格林等著名童话作家的作品外，还选了一部分日、英、美、法、德、俄等国的著名故事作品。共十八篇。

鉴于这套书文字简练、语言生动、唱片录音优美动听等优点，本人将全文配上了「日本当用汉字」并附上中文注释和中文译文，以便读者学习。注释主要是从语法和词汇两个方面进行的，顺便涉及了一些句型、惯用型，力求把一些不大好懂的词和一些不大被人注意的语法现象作为重点，但是，对诸如普通词典查得到的词和简易语法书能解释的普通语法现象则一概从略。

本书既可供我国大学日语专业低年级学生作为听力训练材料或课外阅读材料，也可供有一定日语基础的读者作为提高看懂、听懂日语白话的能力的自修材料。

本书各篇故事皆分本文、〔注释〕、译文三部分并以此为序。书末附有〔注释索引〕便于读者查考。

因本人水平有限，注释翻译中误谬之处在所难免，祈望读者不吝赐教。

奚阳 识于

北京师范大学

八一年春

目 录

一、かえると牛	本文……一〔注释〕……五 译文……八
二、ありとはと	本文……三〔注释〕……五 译文……一七
三、ねずみの相談	本文……三〔注释〕……五 译文……一六
四、羊飼いとおおかみ	本文……三〔注释〕……五 译文……一六
五、おやゆび姫	本文……四〔注释〕……六 译文……一五
六、裸の王さま	本文……五〔注释〕……六 译文……一五
七、桃太郎	本文……七〔注释〕……一六 译文……一八
八、鬼ろくの話	本文……八〔注释〕……一六 译文……一九
九、赤ずきん	本文……一〇三〔注释〕……一〇六 译文……一三
十、ブレーメンの音楽隊	本文……二七〔注释〕……三三 译文……二六
十一、名犬ラッシー	本文……三三〔注释〕……三六 译文……四二
十二、ちびくろサンボ	本文……四六〔注释〕……五三 译文……五七

十三、シンデレラ姫

本文…二六〔注释〕…二七 译文…二七

十四、仲良しのお友だち

本文…二九〔注释〕…二九 译文…二九

十五、金のさかな

本文…二九〔注释〕…二九 译文…二九

十六、イワンのばか

本文…二七〔注释〕…二七 译文…二七

十七、ほらふき先生

本文…二九〔注释〕…二九 译文…二九

十八、ハンメルの笛吹き

本文…二九〔注释〕…二九 译文…二九

付録：注释索引……………二八

一、蛙かえると牛うし

本文

「二」
イソツプ イソツプ イソツプ おじさん。
イソツプ イソツプ イソツプ のイは、
「はなしいいお話をしましうね」のイ。
イソツプ イソツプ イソツプ のソは、
「それはそうしてそうなった」のソ。
イソツプ イソツプ イソツプ のソは、

原作：イソツプ
脚色：佐藤義美
お話：榎本健一

「つらいことでもほがらかに」のツ。

イソップ イソップ イソップのプは、

「ふっと吹き出すおもしろい」のプ。

イソップ イソップ イソップおじさんは、

いいおじさんだ。

さあ、イソップおじさんのおもしろいお話をしましょう。「かえるとうし」のお話。

ゲコゲコ ゲコゲコ……。

かえるの子供たちが、草原で遊んでいました。

すると、大きな動物が、ぬうつと草の間から、顔を出しました。

モー。

それは牛でした。うわあつ。ゲコゲコかえるの子供たちは、牛を初めて見たので、びっくりしてしまいました。

びよんびよん、急いで、うちに飛んでかえりました。

「お父さん、大変だあ。山が歩いてきたよ。」

「冗談じゃない。山が歩くもんか。」〔八〕

「そんならお化けだ。大きなお化けだよ。」〔三三〕

「お化けなんかいるもんか。」〔三三〕

「大きいからだで、頭に、二つの角があったわ。」〔三三〕

「ふふふ。わかったよ。それは牛だよ。牛なら、そう大きくはないさ。牛ぐらゐなら、お父さんだって大きくなれるぞ。」〔三五〕

「うそよ。」

「うそじゃないよ。」

「そんなら、お父さん、牛ぐらい大きくなってごらん。」〔三六〕

「ううん、わけないさ。」〔三七〕

かえるのお父さんは、息を吸って、おなかをふうつとふくらませました。〔三八〕

「とうだい、こ、このぐらいだったかい。」〔三九〕

「そんなちいさかないよ。」〔四〇〕

「じゃあ、このぐらいかい。」〔四一〕

「ううん、もっと、ずっと大きかったよ。」〔四二〕

「うう、じゃあ、こ、このぐらいかい。ううん。」

「まだだよ。もっともっと、ずうっと大きおおかったわ。」

「うう。はあ、はあ。どうだ、こ、このぐらいだろう。」

お父とうさんがえるは苦くるしそうです。〔三六〕

「もっともっと、ずうっと大きいよ。」

「うう、どうだ。これ、これ、これぐらいか。うう、う、うううん。」

お父とうさんがえるは、大おほきく大おほきくおなかをふくらませました。〔三七〕

バーン。

へえっ、かわいそうに、お父とうさんがえるのおなかは到頭とうとうパンクしてしまっ〔三八〕たんです。

うふふふ。ばかなかえるですね。みなさんも、自慢じまんして無理むりをしないようになさ
いね。〔三九〕

じゃあ、このお話はなしはこれでおしまい。

(おわり)

【注 释】

〔一〕 イソップ——伊索，又称アイソポス。纪元前六世纪的古希腊寓言家，有「伊索寓言」(イソップ物語)传于后世。

〔二〕 ゲコゲコ——拟声词，形容青蛙叫声，可译为「呱呱」。

〔三〕 ぬうっと——「ぬ」と「つ」的长音，口语强调形。形容突然出现的样子。

〔四〕 うわあ——感叹词「わっ」的口语强调形。吃惊时发出的喊声。

〔五〕 びよんびよん——拟态词。形容一蹶一蹶的样子。

〔六〕 飛ぶ——本义是「飞」的意思。在这里是转义，「快跑」的意思。

〔七〕 大変だ——是「大変だ」的长音。

〔八〕 冗談じゃない——即「冗談ではない」的口语形。表示不赞成对方所说的话的常用说法，可译为「别开玩笑啦。」或「别瞎扯啦。」

〔九〕 もんか——「ものか」的口语形。是终助词，接在句末的用言・助动词的连体形下面，以反诘的口气表示强烈的反駁，断然否定。可译为「哪能」、「怎么会」等。

〔一〇〕 そんなら——「それなら」的口语形。是连语・接续词。意思是「如果那样」「要是那样」或「那么说来」。

〔二〕　なんか——「など」の口语形。是副助词。「など」口气郑重，「なんか」口气随便，另外还有「なぞ」「なんぞ」等粗俗的说法。在这句里与后面的「ものか」相呼应，显示出轻视及不愉快的口气。在这句里可译为「哪里有什么妖怪。」

〔三〕　わ——终助词，女性用语。在句子的末尾，表示委婉、感叹、轻微的断定等语气。在这句里的意思属于后者。

〔四〕　なら——「だ」的假定形，是「如果是××的话」的意思。

〔五〕　さ——这句里的「さ」属于终助词，男性用语，在郑重的场合或文章里不用。这种意义的「さ」接在句末的用言・助动词的终止形、体言及形动词词干以及助词下面，表示断定、无所谓、质问等语气。在这句里含有一种「显然……」的语气。

〔六〕　だって——这句里的「だって」是提示助词，意义与「でも」近似，是「即使……也……」的意思。

〔七〕　ううん——感叹词「うん」的长音，在这句里表示肯定的意思。

〔八〕　わけない——或者说「わけはない」，是惯用句。表示简单容易的意思，等于「やさしい」「簡単だ」。

〔九〕　ぶうっと——在这句里是表示使劲运气的样子。

〔十〕　ふくらませます——是由自动词ふくらむ（胀）和使役助动词せる组成的带有他动意义的说

法，相当于汉语的「鼓」。

〔三〇〕 だい——助动词「だ」和终助词「い」的重叠。在疑问代名词或表示疑问的副词下面加「だい」属于男性口语用语。如「だれだい」、「なんだい」、「どこだい」、「いつだい」、「どうだい」等。终助词「い」接在助动词「だ」、「た」、和助词「か」、以及动词命令形等下面，给前面的词增添质问、轻蔑、叮嘱等语气。这句里的「どうだい」是表示质问的。

〔三一〕 こ、このぐらい——「こ、こ……」形容说话时结结巴巴的样子。

〔三二〕 かい——表示疑问的终助词か+终助词い。参看本篇的注〔二〇〕（其标记为①〔二〇〕）。

〔三三〕 ちいさかない——「ちいさくはない」的约音形式，（くは→くわ→か）。

〔三四〕 ううん——感叹词「うん」的长音。在这句里表示不以为然的意思。参看本篇的注〔二六〕。

〔三五〕 ずうっと——「ずっと」的长音，口语强调形。

〔三六〕 苦しそうです——形容词「苦しい」的词干加样态助动词そうです。这里的「そうです」是「そうだ」的郑重说法，形容眼前具体的样子、情况、状态。

〔三七〕 パーン——拟声词，相当于汉语的「乓」。

〔三八〕 パンクする——(puncture)的译音，是形容（轮胎、皮球等）爆裂的动词。汉语口语可译为「放炮」。

〔三九〕 ばかな——「ばか」既可作名词也可作形动词（ばかな、ばかに）。作名词时一般译为「傻瓜」

「混帳」，作形动词时意义较多，这里的「ばかな」可译为「傻（的）」。

译 文

蛤 蟆 和 牛

原作：伊索
改编：佐藤义美
讲述：榎本健一

伊索、伊索、伊索大叔。

イソップ イソップ イソップの「イ」啊，

就是「讲个いいお話（好故事）吧」的「イ」。

イソップ イソップ イソップの「ソ」啊，

就是「それは（那件事）那么一來就那样了」的「ソ」。

イソップ イソップ イソップの「ツ」啊，

就是「つらいこと（难过的事）也能讲得生动动听」的「ツ」。

イソップ イソップ イソップの「プ」啊，
就是逗你「ふっと（噗哧）发笑」的「プ」。

伊索、伊索、伊索大叔，

实在是个好大叔。

好，现在咱们就来讲个伊索大叔编的有趣的故事。「蛤蟆和牛」的故事。

呱呱，呱呱……。

有一回，小蛤蟆们正在草原上玩耍。

突然有一个大个儿的动物噔地从草里探出头来。

哞——

原来是头老牛。哇，不得了啦。呱呱直叫的小蛤蟆们头一次见到牛，吓了一大跳。

蹒跚蹒跚地急急忙忙跑回了家。

「爸爸，不得了啦，大山走过来喽！」

「别瞎说了。山怎么会走呢。」

「那么就是个妖怪。一个大个儿的妖怪。」

「哪里有什么妖怪！」

「身子很大，头上有两只角呐！」

「嘿嘿，懂了。那是牛啊。牛可没多大。要是牛那么大的话，就是爸爸也变得了。」

「说假话！」

「不是假话！」

「那么，你就变成牛那么大咱们看看。」

「嗯，小事一段！」

老蛤蟆就吸起气来，瘪瘪地鼓肚子。

「怎么样，是这、这么大吧？」

「不，哪是那么一丁点大呀！」

「那么，是这么大吧？」

「嗯！不，还要大，还要大。」

「嗯哼，那么说是这、这么大吧？嗯哼。」

「还差得远哪，还要大，还要大。」

「唔唔，哈，哈，怎么样，这、这么大吧？」